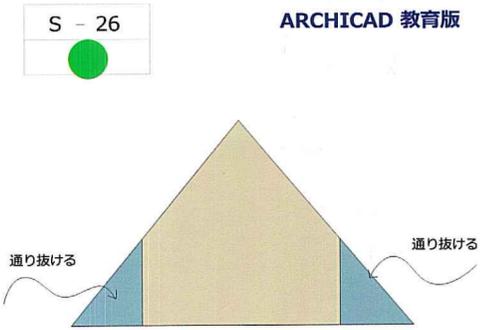


抜きの△

(人と風景が通過する三角屋根の集会所)



本計画は、団地の南側に広がる公園の緑を生活の中心へ引き込み、住民の日常と自然を結び直す集会所の提案である。建物は公園に向かって大きく開かれた切妻屋根の架構とし、ガラス越しに室内と緑の風景が連続するワンルーム空間をつくる。前面には公園へとじみ出す竹デッキを設け、室内一半屋外一芝生へと段階的につながる「縁側の」構成とすることで、人々は用途に縛られず、座る・集まる・眺めるといった行為を通して自然と滞留する。公園の緑は背景ではなく建築の一部として取り込まれ、集会所は団地と公園を結ぶ結節点となる憩いの場となる。



使われ方

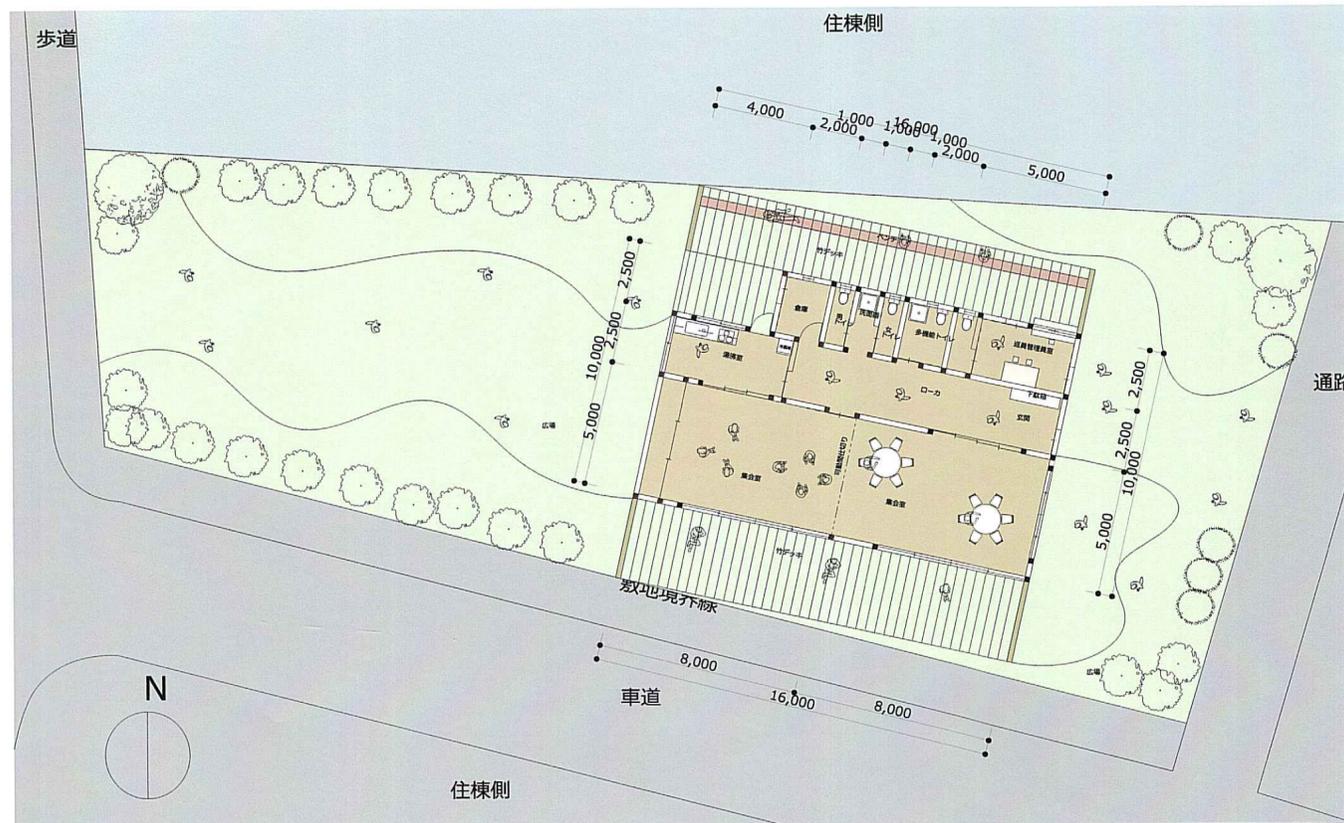
1. 公園と一体の居場所
散歩の延長で竹デッキに腰掛け、そのまま室内へ入り休憩する。
2. 緑を背景にした集会
体操、自治会、ワークショップが南側公園の風景と重なり合いながら行われる。
3. 世代の交差点
子どもは公園で遊び、大人は縁側で見守り、高齢者は日向でくつろぐ。
4. 行為のにじみ出し
室内の活動は竹デッキへ、公園のイベントは建築へと相互に広がっていく。
5. 目的のいない滞在
用事がなくても、何かをしなくても、ただ座り、眺め、時間を過ごすことが許される場所。
6. 団地とまちにひらかれた関わり
団地に住む人は日常の居場所として、周辺住民や公園利用者は立ち寄りの場として関わり、挨拶や立ち話、見守りといった小さな関係が自然に生まれる交流の拠点となる。

素材・構造

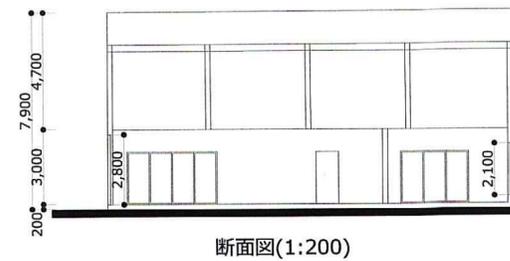
外壁仕上げ	ガラス+ホルダー
屋根材	ガルバリウム鋼板
構造	木造ラーメン構造

面積表

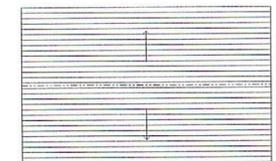
用途	サイズ	面積
集会所	16 × 5 (m)	80 m ²
湯沸室	5 × 2.5 (m)	12.5 m ²
倉庫	2 × 2.5 (m)	5 m ²
トイレ	5 × 2.5 (m)	12.5 m ²
巡回管理員室	5 × 2.5 (m)	12.5 m ²
玄関・廊下	11 × 2.5 (m)	27.5 m ²
合計		150 m²



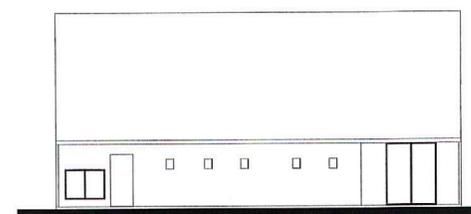
配置図平面図(1:200)



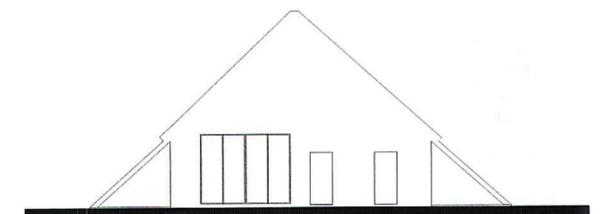
断面図(1:200)



屋根伏せ図(1:200)



北立面図(1:200)



東立面図(1:200)